

# いわみの (益高だより)

令和7年3月号  
(第183号)

令和7年3月24日  
島根県立益田高等学校

## 校長 阿部 敦子

「未来を切り開く若者たち」をテーマに、益田高校の生徒たちの明るい未来を表現したポスターを今年度作成しました。益田市内で見たことがあるでしょう。益高を「Where Futures Flourish: Masuda High School」、未来が花開く場所としました。皆さんは、益高の「学習」と「体験」の両方大切にす、これからの時代に相応しい学びのスタイルを身に付けています。それは皆さんの将来を切り開く財産となります。令和7年度さらなる飛躍を期待します。



## 教務部長 山田 忠幸

令和6年度もあっという間に過ぎていきました。今の自分を1年前の自分と比べてみてください。間違いなく大きく成長しているはずです。知識量は比べものにならないほど増えて、物事を深く考えられるようになっていきます。できることが増え、人間関係も広がりました。益高生は忙しいと言われるますが、それは充実しているという意味で、それで良いのです。

高校3年間は大学を目指して学習するだけでなく、大人になるための準備をする期間です。卒業する時はもう成人しています。より魅力的な大人になるために、次は自分の苦手なことに立ち向かって欲しいと思っています。英語や社会が苦手、自分の意見を言うのが苦手、欠席や早退が多い…など、克服するのは高校生の今が一番のチャンスです。今なら、先生方の助言ももらえるし、失敗しても良いのです。それに、歳をとると、できないことをしなくなりますよ。令和7年度も皆さんの更なる飛躍を期待しています！

## 進路指導部長 小笠原 正林

令和6年度の進路指導が終わろうとしています。

3年生においては、多くの生徒が無事進路実現を果たし、就職・進学双方の面で達成感に満ち溢れているのではないのでしょうか？思い通りの結果を得ることができなかった生徒も、この益田高校で頑張ってきたことが必ず将来の財産になると信じています。なぜなら、進路実現を果たすために朝早くから登校し、放課後遅くまで残って勉強をしていたこと。面接試験や小論文試験の対策のため、担当の先生から叱咤激励を受けながらも、必死になって主体的に努力していたこと。長期休業中や連休にも関わらず、多くの補習を受講し、どの科目も手を抜くことなく努力し続けたこと。これらのことは、現在の結果がどうであれ、必ず財産となります。そう信じています。

1・2年生においては、入学時より進路実現に向けた支援が、ありとあらゆる場面で行われていたことに気づいているのでしょうか？校外での様々な研修や、進路に関する講演会や補習も含めたすべての行事ももちろんそうですが、日々の授業や部活動、毎日10分間の清掃などすべての益田高校での活動が、進路実現に向けた支援となっています。あとは、生徒の皆さんが主体的にそれらの活動に必死になって取り組んでくれるかどうかです。来年度もまた、生徒・保護者・教員一丸となって第1志望合格率100%を目指して頑張っていきましょう!!皆さんの検討を祈ります。

※今年度の進路実績は、後日昇降口に掲示しますので是非確認してください。

## 生徒部長 奥野 昌明

生徒部として令和6年度を振り返ってみると、体育祭の5月開催が真っ先に浮かびます。例年秋口に学園祭で行っていたものを、主に熱中症リスク軽減を図るために変更しました。事後アンケートを見ても5月開催を推す意見が圧倒的で、穏やかな天気のもとで競技を存分に楽しんでくれたことが分かります。私は、体育祭でみんなのはじける笑顔を見て、今年度の益高は絶対盛り上がるぞ！と確信しました。一方で、「準備期間が短い」という意見も見逃せません。体育祭実行委員会と生徒部で協力しながら、次の体育祭をより良いものにしていきたいと思います（実は、この原稿を読んでいる時点で体育祭まで約40日です）。



さて、「嵐」のリーダー大野 智さんの名言に『才能の差は小さいが、努力の差は大きい。継続の差はもっと大きい』があります。益田高校では『伸びる・伸ばす』の合言葉のもと、学習だけでなく部活動や生徒会活動など自分に合った場所でのびのびと活躍することができます。春季休業中にしっかりとエネルギーを蓄え、令和7年度も自分の可能性を信じ、益高生としての誇りを持って全力で過ごしてください。生徒部も応援します。

## 第1学年主任 篠原 由佳

「この人すごい！」と思える人に出会えた時、「何これ、面白い！」と心に響く考えに出会えた時、自分から少し勇気を出し、声をかける、質問をする、自分なりに考える、そんな一歩を踏み出してみてください。高校生活の間でどこまで伸びるのか、自分が自分に期待をして、わくわくしながら一つひとつ挑戦してみてください。可能性を伸ばす鍵は皆さん自身が持っています。



これは入学式の日々の主任挨拶の一部です。

多くの皆さんにとってこの1年間は充実した毎日だったのではないのでしょうか。人との比較ではなく、過去の自分、例えば中学3年生の自分と比べても、生活面・勉強面・精神面・身体面において多くの気づきがあり、成長できたのではないかと思います。

2年生になる皆さんへ

「1年生の自分」を振り返り、成長できたと思える部分はさらに伸ばして。まだまだ不十分だと思う部分は少しでも改善できるように努力し、「2年生という1年間」を大切にしたいと願っています。学校生活に慣れた今こそ、入学時に抱いた初心を思い出し、頑張る仲間と共に、楽しみながら挑戦を続けていきましょう。

今後皆さんがどのように『自立への道程』を歩いていくのか、楽しみにしています。



## 第2学年主任 山田 伸太郎

1年を振り返り、2年生は「自律力」が身につきました。自らをコントロールし、その場に合った言動をする、相手が求める受け答えができる、困難を受け止めることができる、そんな成長をたくさん見ることができました。強くそれを感じたのは、研修旅行のときでした。正直、旅立つまではみなさんと2泊3日を過ごすことがとても不安でした。行方不明にならないか、人に迷惑をかけないか、勝手な行動はしないか、と。しかし、私の心配は杞憂でした。突発的な出来事にも瞬時に情報を伝達し、互いにサポートし合って活動していました。私の気づいていないファインプレーもきっとたくさんあって、無事に旅行を終えることができたと思っています。少し怒ったことはこの際忘れましょう。

次はいよいよ3年生。ますます「自律力」が求められます。わがままを押し通すだけでは集団は動きません。後輩を引っ張る統率力を身につけてください。心をコントロールして厳しい受験に立ち向かっていってください。まだまだ成長できますよ。

### 第3学年主任 廣田 理史

令和6年度が終わろうとしていますが、皆さんにとってどんな1年だったでしょうか。卒業した3年生一人ひとりが大きく成長していく姿を見て、本当に頼もしく感じた1年でした。この1年を通して改めて実感したのは、「本気になることの大切さ」です。最後の大会に向けた全力の練習や、受験に向けた真剣な学習など、3年生になってからの卒業生の成長は目を見張るものがありました。新2・3年生の皆さんも、本気で目の前のことに取り組んでみませんか？本気になれば、大きく成長できるだけでなく、高校生活で得られる感動もさらに深まります。

本気で取り組むことで、新しい自分に出会えたり、大きな達成感を味わえたりします。皆さんもぜひ、自分の目標に向かって一步踏み出してみてください。これからのみなさんの成長を楽しみにしています。

#### 「誰かのための器」

美術選択者で陶芸に挑戦し、作品を展示しました。



#### 転任される方

#### 阿部 敦子 先生（校長 理科/生物）

Google社の採用面接は、職務への適性を聞くことはありません。Googleが採用したいのはジェネラリスト（幅広い知識や技能、経験などを備えた人物）。特定の分野の知識ではなく、幅広い課題に対しての対応力を身に付けている人です。益高生は課題探究・課題研究を通して、絶賛習得中です。応援しています！地域や国の未来を切り開く益高生！！

#### 波多野 和志 先生（国語）

「人」という漢字は人と人が支えあって成り立っている漢字だ。よく言われるフレーズですが、これは嘘です。「人」という漢字は「人」がひとりで立っている姿をかたどった、象形文字です。人はひとりで立っている。でも、立ってられない時もある。そんな時、益高生は適切に人を助け、人に助けを求めながら3年間かけてだんだんひとりで立てるようになる。寄りかかりながら、揺れながら、迷いながら過ごす日々を大切にしてください。

幸いなことに、僕は1年生から3年生のすべてのクラス・生徒に授業や補習や代打の授業で関わることができました。たくさんの生徒と関わる中で、僕自身も教員として少しずつひとりで立てるようになりました。まだまだふらふらしておりますが、新天地でもせいっぱい頑張ります。本当にありがとうございました。

#### 桐田 美里 先生（数学）

皆さんのおかげでとても楽しい1年を過ごすことができました。勉強はもちろん、部活動や課題探究・研究、行事など何事にも一生懸命な皆さんの姿はまさに『文武両道』！これからもそんな益田高校であってほしいと思います。1年間ありがとうございました。

#### 有富 和生 先生（数学）

教員生活のはじめの1年を皆さんとともに過ごせて本当に幸せでした。何事にも全力で取り組む皆さんの姿はとても輝いていて、そんな皆さんの姿を見て私も頑張ろうと思う日々でした。これからもそんな皆さんの活躍を期待しています！

### 毛利 裕子 先生 (主幹教諭 理科/生物)

6年間、大変お世話になりました。生物の授業や課題研究、課題探究の中でのああでもない、こうでもないといった会話をする時間がとても好きでした。どんなに小さな、他人から見たらくだらないと思われる問いでも追究することの楽しさを思う存分感じてください。せっかくやるなら楽しまねば損です！私も新天地で楽しみます！！

### 奥野 昌明 先生 (英語)

- (ま) 目映いばかりの生徒たち、
- (す) 素敵な大人たちに囲まれた、
- (こ) このゴールドな4年間、
- (う) 美しい思い出たちばかりです。

少し離れた学校からみなさんの活躍を応援しています。これからも益高生活を多いに楽しんでください。

LIVE every moment, LAUGH every day, and LOVE beyond words!



### 武田 健太郎 先生 (英語)

益田高校ではとても濃密で充実した4年間を過ごすことができました。益高生のイメージは最初からずっと変わっていません。漢字1字で表すならば「素」です。素直で、たまに素っ気なくて、素敵な生徒たちでした。素のままで素敵なみなさんのことをこれからも応援しています。

### 向井 初輝 先生 (英語)

1年と4か月という短い間でしたが、お世話になりました。初めての公立の高校での勤務でしたが、本当にみなさんに元気をもらいながら、何とか益高での勤務を終えることができました。短い期間でしたが、私自身沢山学び、すごく成長できた1年4か月だったと思います。今思い返せば、益高での日々は、素晴らしい先生方とともに勤勉で愉快的なみなさん方に囲まれて、充実したhappyな一日一日でした。本当にありがとう！and see you again!

### 青山 皓輝 先生 (英語)

1年間、ありがとうございます。「Becomeでなく、To be」、これは私が意識している言葉です。人は大人になるにつれて、何かに「成る」ことばかり考えてしまいます。将来の職業、キャリアプラン、社会的地位…。しかし、「成る」ことを目標にしていると、それが達成された途端道に迷ったり、または、道中に理由を見失ったり。「成る」でなく、「どう在りたいか」を時には考えてみるといいと思います。

それでは聴いてください、WANIMAで「シグナル」。

### 内田 有紀 先生 (英語)

気づけば、益田高校に赴任して5年経ちました。みなさんの素直さやひたむきに頑張る姿に、私も頑張らなくては！といつも刺激をもらっていました。そうやってみなさんが頑張っていることは周りに十分伝わっています。自分に自信を持って、様々なことにチャレンジして行ってほしいなと思います。今まで、ありがとうございます。

### 小山 知恵 先生 (事務)

3年間ありがとうございます。歴史ある益田高校で勤務できたことを大変うれしく思っています。生徒の皆さんと直接かかわる機会は少なかったですが、皆さんからはいつも元気をもらっていました。今後は地域住民のひとりとして益田高校を応援します。皆様のご活躍をお祈り申し上げます。

R7年度の第1学期始業式は4月8日(火)です。皆さんの登校を待っています。

益田高校ホームページ <https://www.masuda.ed.jp/>

益田高校インスタグラム

[https://www.instagram.com/masuda\\_high\\_school/](https://www.instagram.com/masuda_high_school/)

